D01400401E

ESOTERIC

Grandioso T1

Analog Turntable

取扱説明書

目次

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

安全にお使いいただくために 4
お使いになる前に 6
使用上の注意 6
お手入れ 7
レコードの取り扱い 7
各部の名称 (本体) 8
各部の名称 (電源部) 10
設置 11
接続 18
基本操作 20
設定モード 21
設定 21
困ったときは 23
仕様 25
保証とアフターサービス 26
寸法図 27

ESOTERIC およびエソテリックは、ティアック株式会社の登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

音のエチケット



楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
 **電源プラグをコンセントから抜く**	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター (29 ページ) に修理をご依頼ください。
 **禁止**	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら (芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (29 ページ) に交換をご依頼ください。
	付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧 (交流 100 ボルト) 以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し (20cm 以上) 離して置く **ラックなどに入れるときは、機器の天面から 5cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあける** すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧は、聴覚障害の原因となります。聴覚障害の可能性を防ぐために、長時間，高音量で聴かないで下さい。
 **指示**	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的 (年 1 回くらい) に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
 **禁止**	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

	警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (29 ページ) にご依頼ください。	
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。	

	注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す** ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。	
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。	
 指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する また、接続は指定のケーブルを使用する**	
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。	
	この機器は、ベースユニット部 17kg、プラッター部 19kg、モーターユニット 9kg、電源部 18kg あり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。	
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。	
	この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。	
 禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。	
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。	
 禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。	


愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5 年に 1 度は、販売店またはティアック修理センター (29 ページ) に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社 AV お客様相談室 (29 ページに記載) にご連絡ください。

設置用治具
- スペーサーブロック× 1
- 高さ確認ゲージ× 1
- 設置用レール (L) × 1
- 設置用レール (R) × 1
- 本体保護カバー× 2

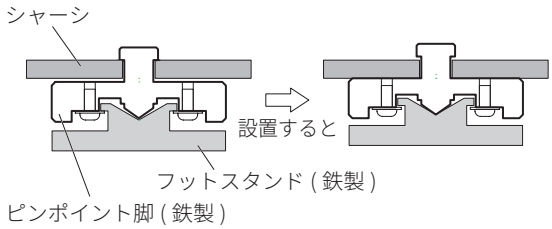
ターンテーブルシート× 1
DC 電源コード× 1
電源コード× 1
フェルト（電源ユニット用）× 4
ハンドル× 2
取扱説明書 (本書) × 1
ご愛用者カード× 1
トーンアーム TA-9D × 1
（アームレスには付属しません）
トーンアーム TA-9D 取扱説明書× 1
（アームレスには付属しません）
アームベース× 1
（アームレスには付属しません）

アームレスをご購入の場合は、アームベースキットが別途必要です。各種アームに対応したアームベースキットをカスタムオーダーにて承ります。

電源部の設置について

電源部の底板には、高精度の鉄製ピンポイント脚が取り付けられています。

ピンポイント脚とフットスタンドは、ぐらついた状態になっていますが、設置するとピンポイント支持になり、振動を効果的に分散させます。



- 設置後にシャーシとピンポイント脚との間にすき間があるときは、ピンポイント脚をネジを締めこむ方向に回すと、すき間がなくなります。
- 設置面を傷付けたくない場合は、フットスタンドの裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

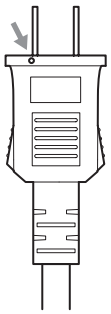
使用上の注意

- 本機の上には物を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 安定した場所に設置してください。

電源の極性について

付属の電源コードのプラグ部分に丸い突起がある方が、本機のアース側を示しています。一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。

接続時の電源プラグの差し込む向き (極性) によって、音質が変わることがあります。お好みの音質となる向きで接続してください。



お手入れ

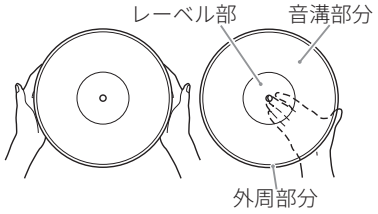
製品表面の汚れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れのときは、固く絞った布で水拭きしてください。ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

レコードの取り扱い

レコードの持ち方

レコードを持つとき、レコードジャケットから取り出すときは、音溝部分に手を触れないように、レーベル部と外周部分を支えて持つか、両手でレコードの外周部分をはさむように持ってください。



お手入れ

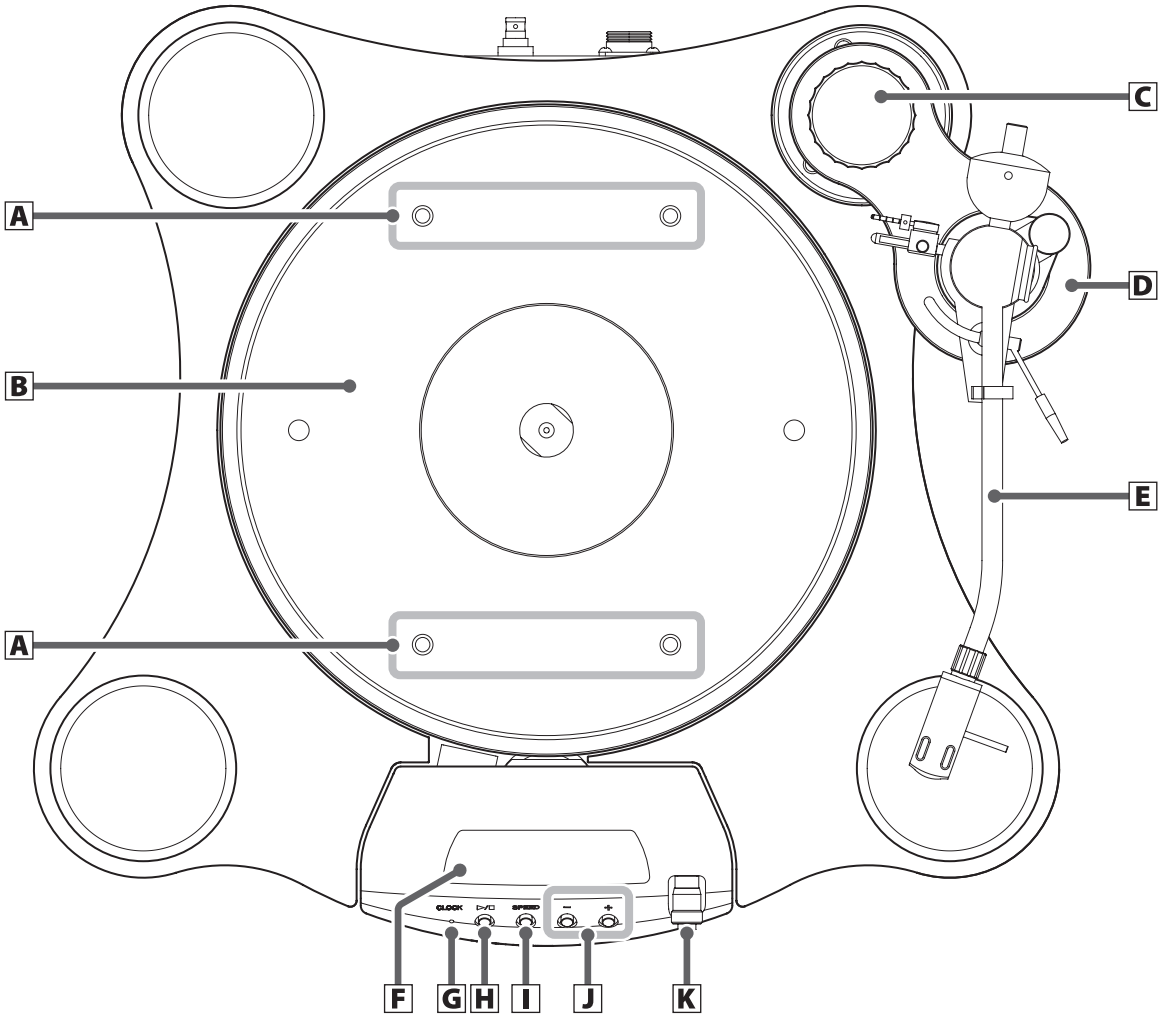
指紋やほこりがつくと、雑音や音飛びの原因となり、レコードや針を傷めます。市販のレコードクリーナーなどでクリーニングしてください。レコードクリーナー以外のベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
レコードクリーナーを使用する場合は、音溝に沿って円を描くように拭き取ってください。



使用上の注意

直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所には置かないでください。長時間放置すると、そりやカビが生えるなどの原因となります。
レコードは、何枚も積み重ねたり、重いものをのせたりしないでください。また、斜めにして長時間放置しないでください。そりや破損の原因となります。
音溝部は、硬いものに直接触れないようにしてください。傷の原因となります。
再生が終わったレコードは、必ずレコードジャケットに入れて保管してください。そのまま放置すると、そりやキズの原因となります。
ヒビが入ったレコードは使用しないでください。

各部の名称 (本体)



A ハンドル取り付けネジ穴

B ターンテーブル (プラッター)

C アームベース取り付けネジ

アームレスには付属しません。

D アームベース

アームレスには付属しません。

アームレスをご購入の場合は、アームベースキットが別途必要になります。各種アームに対応したアームベースキットをカスタムオーダーにて承ります。

E トーンアーム (TA-9D)

アームレスの場合は、別途ご用意ください。

F ディスプレー

各種情報を表示します。

G クロックインジケーター (CLOCK)

クロック同期の状態を表示します。
クロック同期中にインジケーターが点滅し、同期すると点灯に変わります。

H 再生 / 停止ボタン (▶/■)

プラッターの回転、停止を行います。
電源がオフのときに押すと、電源がオンになります。
電源がオンのときに長押し (約 5 秒) すると電源がオフになります。
設定モード中に押すと、設定を終了して通常の表示に戻ります。(21 ページ)

I 回転数切換ボタン (SPEED)

再生するレコード盤に指定されている回転数を選んでください。押すごとに 33 1/3 回転と 45 回転が切り換わります。
長押しすると、設定モードになります。(21 ページ)
設定モード時は、設定項目の変更に使用します。
長押しすると、設定を終了します。

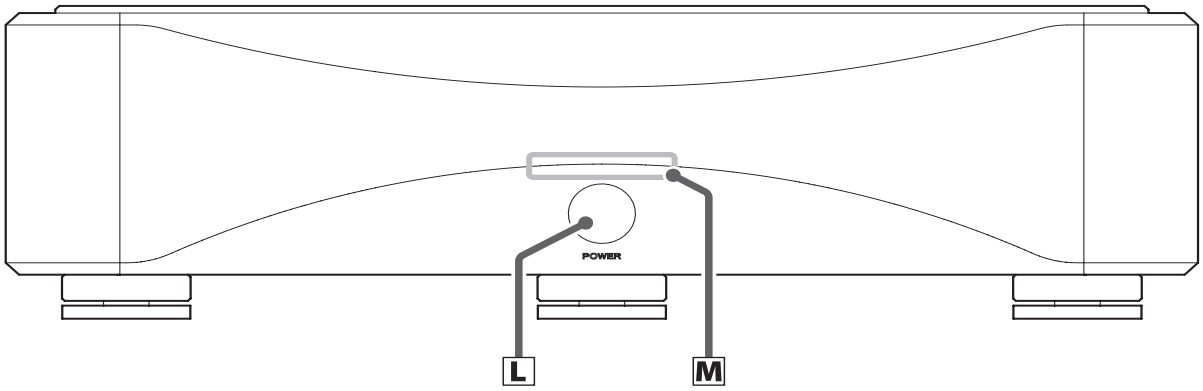
J 回転数調整ボタン (– /+)

プラッターの回転数を微調整します。
± 12.0% の範囲を 0.1% 刻みで調節できます。
設定モード時は、設定値の変更に使用します。(21 ページ)

K マイクロメーター

モーターとプラッターの隙間を調節します。

各部の名称 (電源部)



L 電源ボタン (POWER)

電源のオンとオフを切り換えます。

本機を使わないときは、電源をオフにしてください。

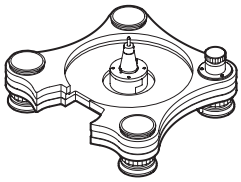
M 電源インジケーター

電源がオンのとき点灯します。

設置

本機は以下の 3 梱包で 1 セットになります。

梱包 1



ベースユニット



アームベース

- アームレスの場合、付属しません。

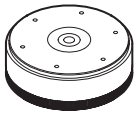


スペーサーブロック



本体保護カバー
(ベースユニットに装着済)

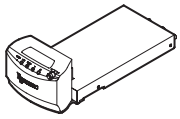
梱包 2



プラッター



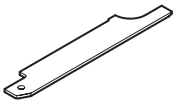
ハンドル× 2



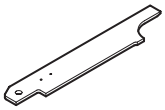
モーターユニット



高さ確認ゲージ
(アクセサリー箱内)

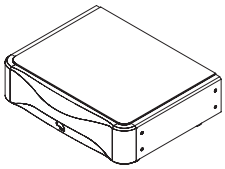


設置用レール (L)



設置用レール (R)

梱包 3



電源部

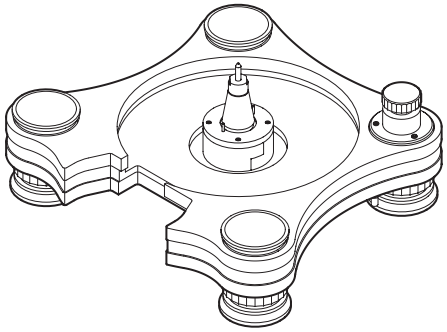


トーンアーム (TA-9D)*

* アームレスの場合トーンアームは付属しません。

⚠ 本機の重量は、ベースユニット部 17kg、プラッター部 19kg、モーターユニット 9kg、電源部 18kg です。大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意し、2 人以上で作業をしてください。

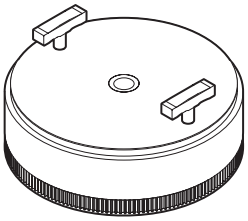
1 ベースユニットを水平で平らな場所に置く。



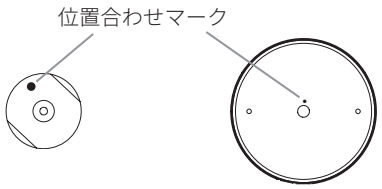
- 設置する場所の耐荷重にもご注意ください。
- ベースユニットの位置の微調整もこの段階で行ってください。ベースユニットの位置を基準にして以降の作業を行います。

2 プラッターにハンドルを取り付ける。

- ハンドルは最後まで軽くしめこんでから、持ちやすい位置になるよう少し戻してください。
  固くしめこまないでください。
- プラッターは 19kg あり重たいので、取り扱いには ご注意ください。



3 プラッターをベースユニットに取り付ける。

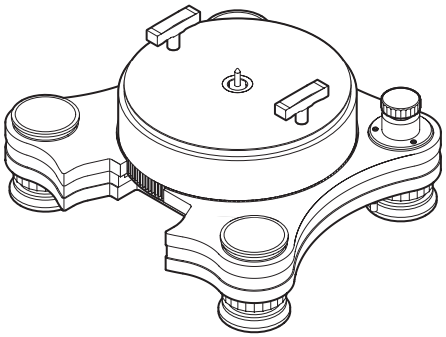


センターシャフトとプラッターとの組合せ精度が最良

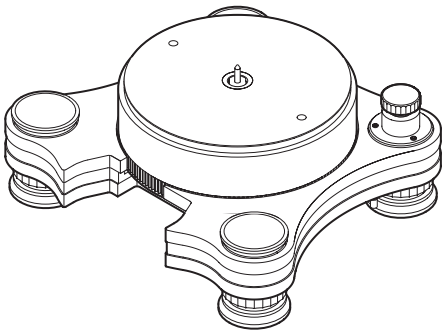
次のページに続きます。 ➡

となる位置にマークが付いています。プラッターを取り付けたときにマークが合うようにプラッターの向きを調節して取り付けてください。

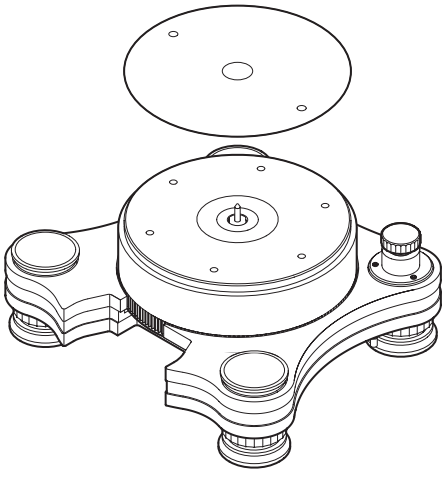
- プラッター取付前にセンターシャフトを回転させることはできません。
- プラッターを取り付ける際は、プラッターとベースプレートとの間に手を挟まないよう気を付けて、ゆっくりと載せてください。



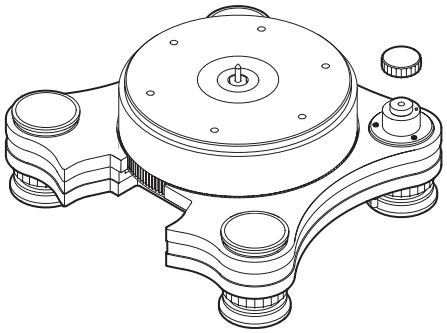
4 プラッターからハンドルを取り外す。



5 プラッター保護シートを剥がす。

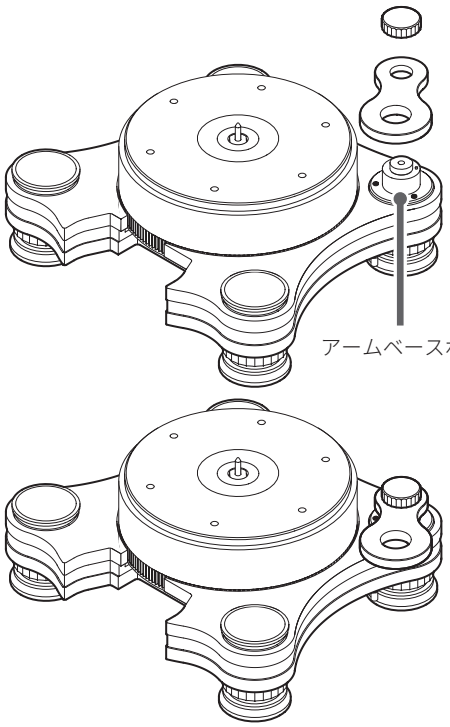


6 ベースユニットのアームベース取り付けネジを取り外す。



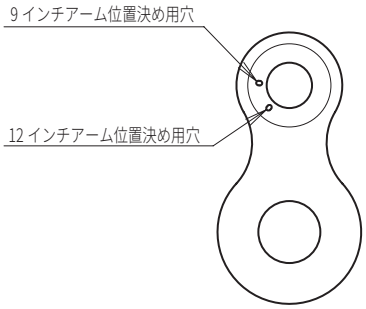
7 アームベースをベースユニットに取り付ける。

アームベース裏面にある位置決め穴をアームベースポストのピンに合わせてセットする。



注意

- 水平に設置するため、アームは必ずベースユニットの高さ調整前に取り付けてください。
- アームベースの位置決め穴は２つあります。アームの長さによって合わせる穴を選択してください。

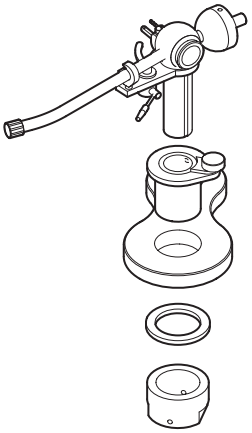


トーンアーム TA-9D は 9 インチアームです。

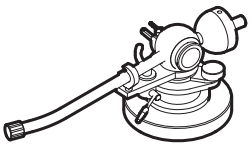
- 正しくセットされると、アームベースとアームベースポストの上面がほぼ同じ高さになります。アームベースとアームベースポストに大きな段差がある場合は、位置決め穴とピンが合っていない可能性がありますので、アームベースをセットし直してください。

8 トーンアームをアームベースに取り付ける。

付属のトーンアーム取扱説明書をご覧の上、取付を行ってください。



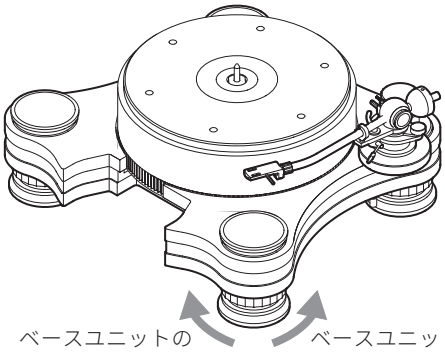
トーンアームをアームベースに取り付けた状態

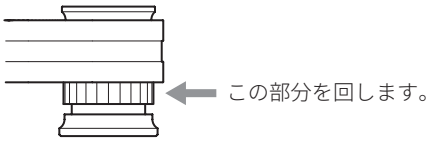


9 ヘッドシェルをトーンアームに取り付ける。

10 プラッターが水平になるようにベースユニットの脚の高さを調節する。

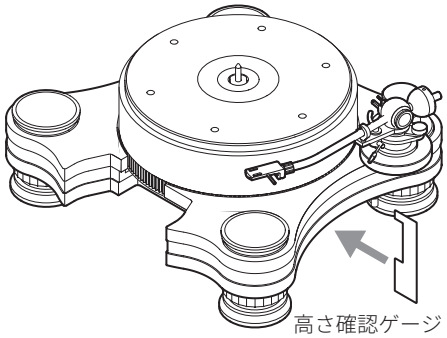
水平に設置されているかを確認するためには、市販のターンテーブル用水準器等をご使用いただくことをお勧めします。





注意

- ベースユニットの四隅を上から押して、4 つの脚に均等に荷重がかかっていることを確認してください。浮いている脚があれば、高さ調整をしてください。
- 後の手順でベースユニットの下にモーターユニットを設置するため、ここで脚を下げすきないように、付属の高さ確認ゲージがベースユニットの 4 辺に入る範囲で高さを調節してください。

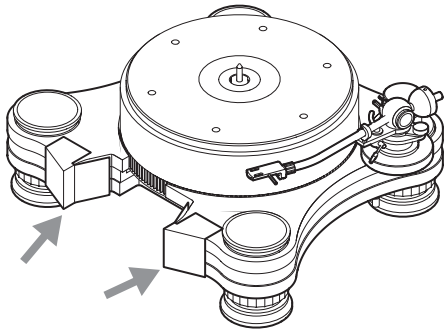


次のページに続きます。 ➡

設置（続き）

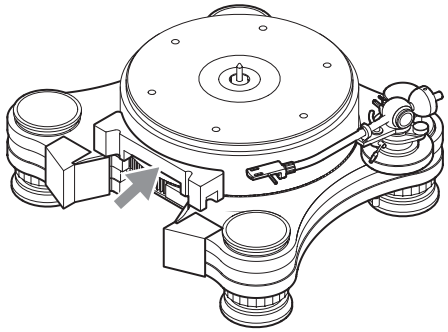
11 ベースユニットの矢印部分に保護カバーが付いていることを確認する。

設置時に取れていたら付け直してください。



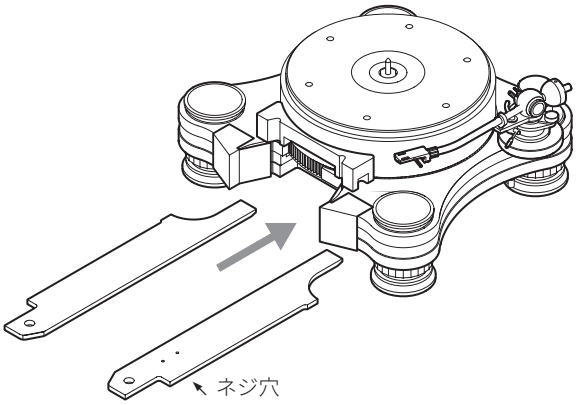
12 スペーサーブロックを図のようにベースユニットに置き、プラッターに接触させる。

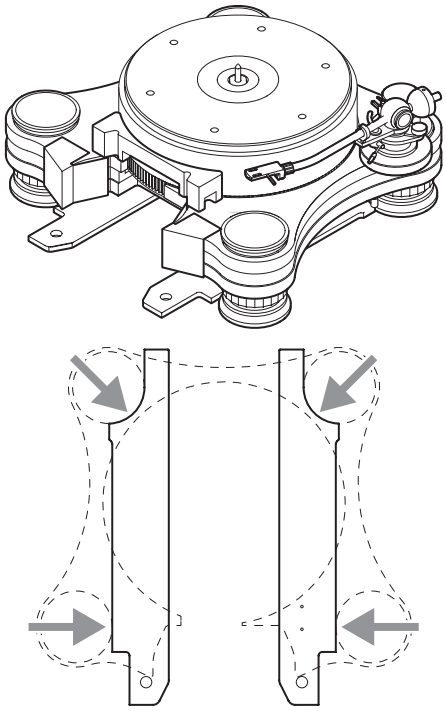
- スペーサーブロックの上下向きに注意して取り付けてください。



13 設置用レールをベースユニットの脚に設置する。

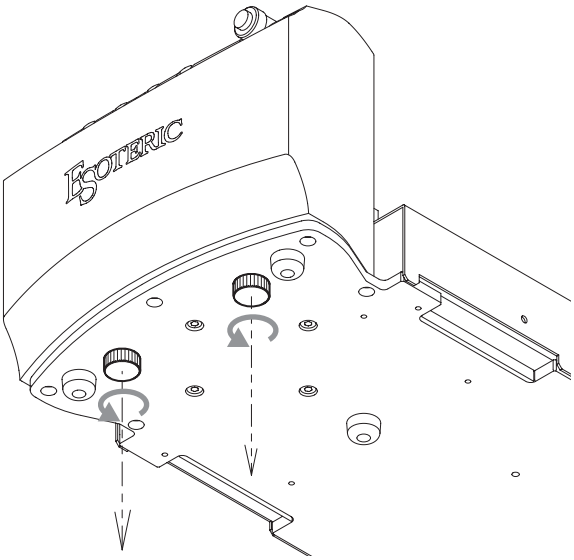
- 設置レールはネジ穴が 2 箇所付いている方が R 側になります。





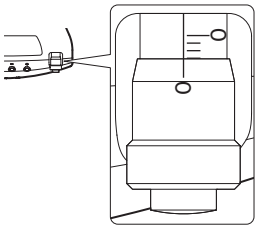
設置用レールとベースユニットの脚が矢印の部分で接触するように設置してください。（説明のためにベースユニットを破線で描いています。）

14 モーターユニットの裏面にある輸送ネジを外す。



- 外したネジは輸送時に必要となりますので、無くさないように保管してください。設置終了後、設置用レール (R) にあるネジ穴に輸送ネジを取り付けて保管してください。

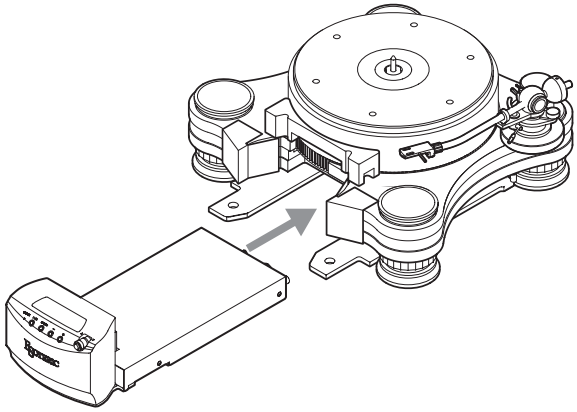
15 **モーターユニットのマイクロメーターのつまみを回して値を 3 にする。**



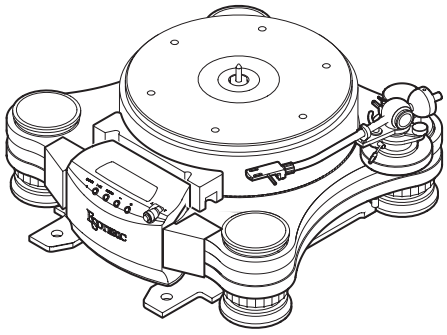
16 **設置用レールに沿ってモーターユニットを差し込む。**

プラッター、スペーサーブロックとモーターユニットの間に隙間がなくなるまでモーターユニットを差し込んで下さい。

- 差し込む際は、モーターユニットがベースユニットに接触しないように注意して差し込んでください。



- モーターユニットとベースユニットが接触するときは、高さ確認ゲージを使用して、ベースユニットの高さを調節してください。



17 **電源部をベースユニットのそばに設置し、DC(直流) 電源コード使って、モーターユニットと接続する。（18 ページ）**

クロックジェネレーターを使用するときは 10MHz クロック入力端子と接続します。

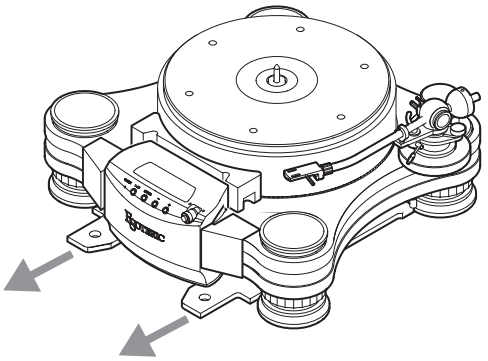
18 **トーンアームにフォノケーブル（別売り）を取付け、フォノアンプまたはアンプのフォノ入力に接続する。**

接続には市販の 5pin DIN ストレートプラグ仕様のフォノケーブルをお使いください。

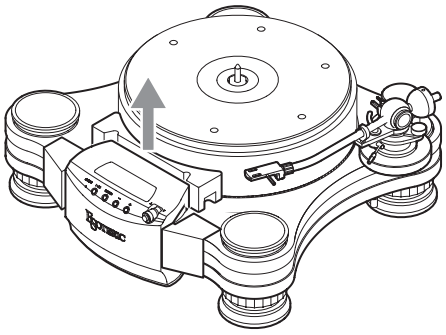
- フォノケーブルのアース線も必ず接続して下さい。

19 **モーターユニットが動かないように手で押さえるなどしながら設置用レールを引き抜く。**

- 設置レールを抜き取るときにモーターユニットが動いた場合は、設置用レールを元の位置に戻してください。プラッター、スペーサーブロックとモーターユニットの間に隙間がなくなるまでモーターユニットを差し込んで下さい。そして、設置用レールを引き抜いてください。

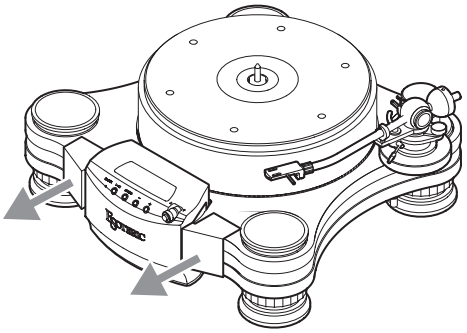


20 **スペーサーブロックをプラッターから取り外す。**



次のページに続きます。 ➡

21 ベースユニットに取り付けた矢印部分の本体保護カバーを取り外す。



22 ターンテーブルシートをプラッターの上に載せる。

23 トーンアームの調節をする。

- お使いのトーンアームの取扱説明書に従って調整を行ってください。

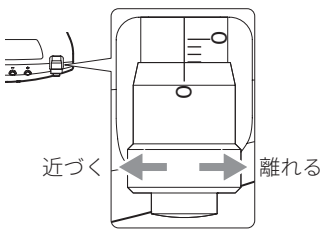
- 全ての接続が終わったら、電源プラグを 100V AC の電源コンセントに差し込んでください。

注意

設置に使用した治具は、本機を移動する時にも使用するので、保管して下さい。

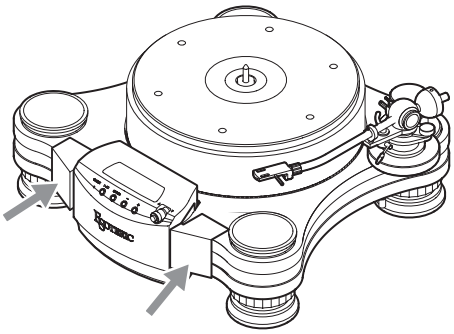
プラッターとマグネティックドライバーの距離を調節する

プラッターとマグネティックドライバーの距離を調節することによって、再生時の音が変化します。
初期位置は 3 です。
調節範囲は 2 ～ 3 です。
お好みの位置に設定してください。

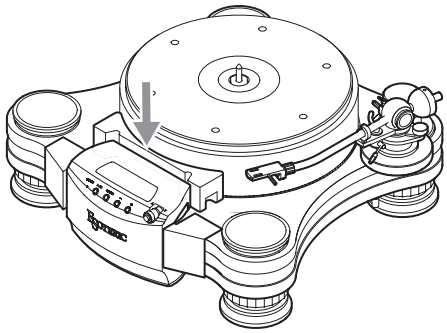


モーターユニットを取り外す

1 ベースユニットの矢印部分に保護カバーを付ける。

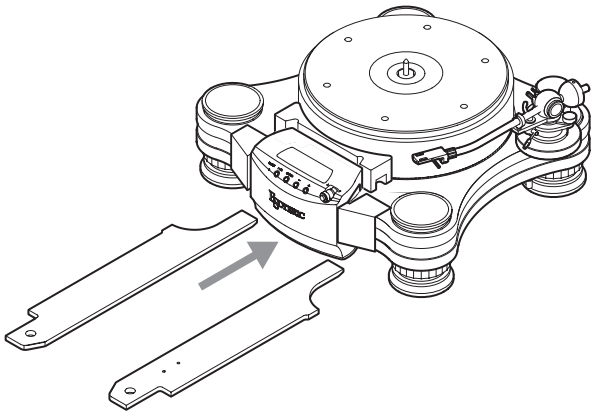


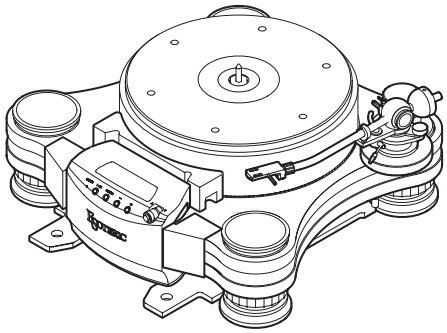
2 スペーサーブロックを図のようにモーターユニットとプラッターの間に差し込む。

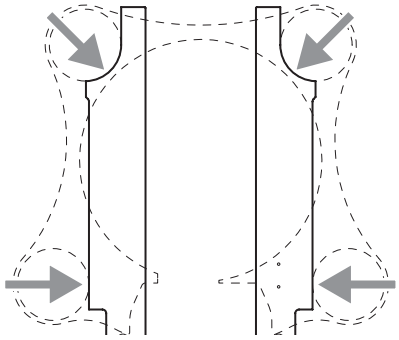


3 設置用レールをベースユニットの脚に設置する。

- 設置用レールに輸送ネジが付いている場合は外してください。



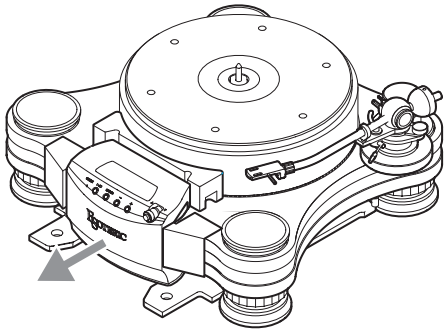




設置用レールとベースユニットの脚が矢印の部分で接触するように設置してください。（説明のためにベースユニットを破線で描いています。）

4 モーターユニットとトーンアームに接続しているケーブルを取り外す。

5 モーターユニットを引き抜く。

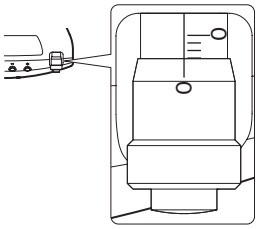


6 設置用レール、スペーサーブロック、本体保護カバーを取り外す。

モーターユニットを初期位置に再設定する

地震などでモーターユニットの位置が動いてしまった場合、以下の手順でモーターユニットの位置を修正してください。

1 モーターユニットのマイクロメーターの値を 3 にする。



2 モーターユニットを取り外すの手順 3 までを行う。

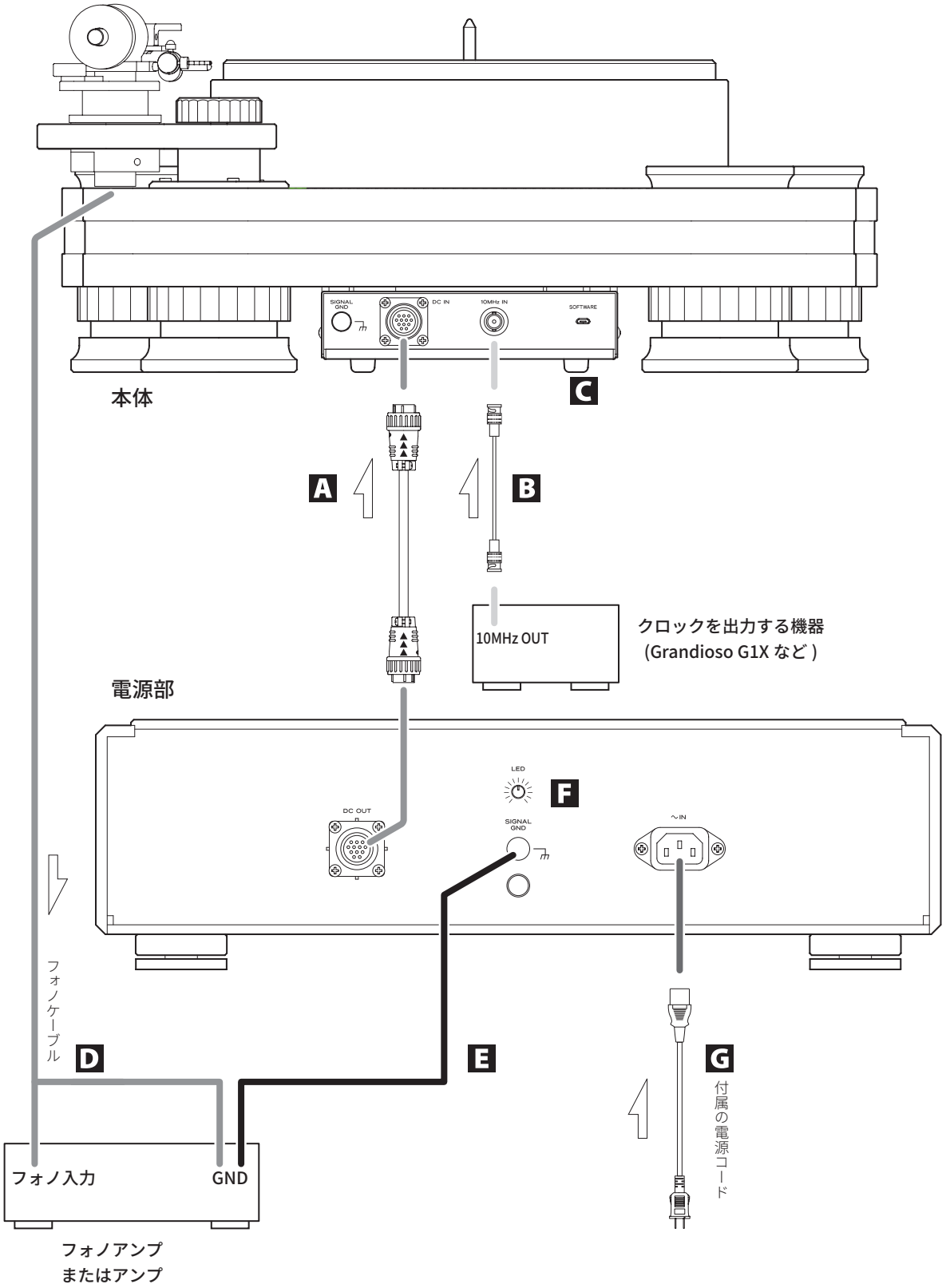
3 モーターユニットの位置を調節する。

プラッター、スペーサーブロックとモーターユニットの間に隙間がなくなるまでモーターユニットを差し込んで下さい。

4 設置の手順 19（15 ページ）以降の手順に従って治具を取り外す。

5 モーターユニットのマイクロメーターの値をお好みに合わせて設定してください。

接続

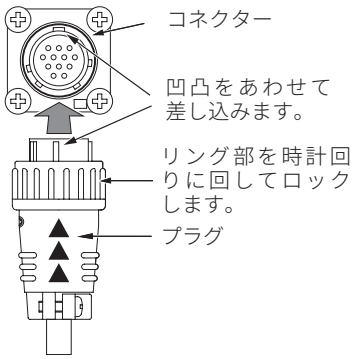

SIGNAL GND
DC IN
10MHz IN
SOFTWARE
本体
C
A
B
10MHz OUT
クロックを出力する機器
(Grandioso G1X など)
電源部
LED
F
DC OUT
SIGNAL GND
~IN
フォノケーブル
D
E
G
付属の電源コード
フォノ入力
GND
フォノアンプ
またはアンプ

A DC 電源入出力端子 (DC IN、DC OUT)

本体の DC 電源入力端子 (DC IN) と、電源部の DC 電源出力端子 (DC OUT) を、付属の DC(直流) 電源コードを使って接続します。

DC OUT ➡ DC IN

- DC(直流) 電源コードの抜き差しは、必ず AC インレットの電源コードをコンセントから抜いた後で行ってください。
- DC(直流) 電源コードには矢印が印刷されています。矢印が 18 ページの図の向きになるように接続してください。
  DC(直流) 電源コードの凹凸と矢印の向きを確認してプラグ部を持ち、プラグとコネクターのマークを合わせて差し込みます。リング部を時計回りに回してロックします。外すときは、逆の手順で取り外してください。抜き差しするときに、プラグを斜めにしたり揺らしたりしないでください。
- DC(直流) 電源コードを抜き差しするときは、リング部に指を挟まないようご注意ください。



⚠ Grandioso T1 の本体以外には絶対に接続しないでください。故障の原因になります。

B 10MHz クロック入力端子 (10MHz IN)

10MHz の同期信号 (クロック) を入力します。
クロック同期させる場合は、クロックを出力する機器のクロック出力端子と本機のクロック入力端子を接続して、外部クロック設定 (CLK>) を「IN」に設定してください。(21 ページ)

接続には市販の BNC 同軸ケーブルをお使いください。

- BNC 同軸ケーブルはインピーダンス 50 Ωまたは 75 Ωのものがお使いいただけます。

C メンテナンス用端子 (SOFTWARE)

メンテナンスで使用します。弊社サービス部門の指示が無い限り、何も接続しないでください。

D フォノケーブル

接続には市販の 5pin DIN ストレートプラグ仕様のフォノケーブルをお使いください。
フォノケーブルのアース線は、フォノアンプに必ず接続して下さい。接続しないと電源ハム（ブーンという音）が出ることがあります。

E アース端子 (SIGNAL GND)

アンプなど、本機と接続する機器とアース接続をすると、音質が良くなることがあります。

- 安全アースではありません。

スピーカーからのノイズ音が気になるときは
アースケーブルを本機のグランド端子に接続している場合は、アースケーブルを外すことでノイズ音が少なくなることがあります。また、逆の場合もありますので、ノイズ音が少なくなる接続方法をお選びください。

F LED 輝度調整つまみ (LED)

電源インジケーターの明るさを調節します。

G AC インレット (～ IN)

AC インレット (～ IN) に付属の電源コードを差し込んでください。全ての接続が終わったら、電源プラグを 100V AC の電源コンセントに差し込んでください。

- 電源部の AC インレットは 3 ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

⚠ エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

基本操作

レコードを再生する

1 電源ボタン (POWER) を押して、電源をオンにする。

2 プラッターにレコードを載せる。

ドーナツ (EP) 盤を再生する場合には、EP アダプターをご用意ください。

3 回転数切換ボタン (SPEED) を押して、レコード盤に指定されている回転数を選択する。

回転数は 33 1/3、45 回転の 2 種類あります。

4 再生 / 停止ボタン (▶ /■) ボタンを押して、プラッターを回転させる。

回転速度が安定するまで待ってください。

5 アームリフトレバー操作して、アームリフターを上げる。

- アームリフターを下げたまま、トーンアームを浮かせた状態でレコードの上に移動してから、トーンアームをゆっくりと下げて再生を始めることもできます。

6 再生したいところまでトーンアームを移動する。

7 アームリフトレバーを操作して、アームリフターを下げる。

トーンアームがゆっくり下がり、針先がレコード盤におりて再生がはじまります。

注意

- 再生中はトーンアームやレコード盤に触れないでください。針先の破損やレコード盤の損傷の原因となります。
- 再生中は無理にプラッターの回転を止めないでください。本製品は DJ タイプのターンテーブル（ダイレクトドライブ方式）ではありませんので、このような動作をすると故障の原因となります。

レコードの再生時に音を大きくしすぎると、ハウリングが起こることがあります。その場合は、アンプの音量を下げてください。

再生が終わったら

1 アームリフトレバー操作して、アームリフターを上げる。

2 トーンアームを元の位置に戻す。

3 アームリフトレバーを操作して、アームリフターを下げる。

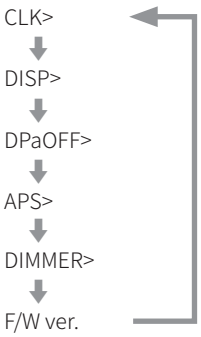
4 再生 / 停止ボタン (▶ /■) ボタンを押して、ターンテーブル (プラッター) の回転を止める。

設定モード

設定のしかた

1 回転数切換ボタン (SPEED) を長押しする。

2 回転数切換ボタン (SPEED) をくり返し押して、変更する項目を選ぶ。



3 回転数調整ボタン (– /+) を押して設定値を変更する。

4 再生 / 停止ボタン (▶/■) を押して設定を終了する。

または、10 秒以上放置すると、設定を終了して通常の表示に戻ります。

- 設定した内容は電源プラグを抜いても保持されます。

設定

クロック設定

CLK> ＊＊＊

外部クロックによる同期設定を行います。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。

OFF

クロック同期を行いません。

IN

本機のクロック入力端子 (10MHz IN) にクロックジェネレーターから 10MHz のクロックを入力し、本機を同期させるモードです。

クロックインジケーター (CLOCK) が点灯します。同期中または同期できない状態の場合は、クロックインジケーター (CLOCK) が点滅します。

- 入力可能なクロックの周波数は、10MHz です。
- レコードの回転中にクロックジェネレーターの電源をオフにしたり、10MHz クロックを供給している BNC 同軸ケーブルの接続をはずして、クロックの供給を止めたりしないでください。

メモ

CLK>IN 設定で、10MHz のクロックと同期しているとき、ディスプレー右上に「CLK 10M」と表示します。

ディスプレー設定

DISP> ＊＊＊

ディスプレー表示を切り換えます。

- 出荷時は、「NORM」に設定されています。

NORM

再生 / 停止および回転数を表示します。

RPM

回転数のみを表示します。

AUTO

再生 / 停止および回転数を表示し、安定回転時にはディスプレーを消灯します。

ディスプレー自動消灯設定

DPaOFF> ＊＊＊

ディスプレー表示を自動的に消灯することができます。

- 出荷時は、「ON」に設定されています。
- 有機 EL 表示管は、同じ表示状態で長時間使用し続けると、輝度ムラが起こることがありますので、自動消灯設定を ON にすることをお勧めします。

ON
10 分間操作の無い状態が続くと、表示が自動的に消灯します。

OFF
表示を自動消灯しません。

- 10 分間操作の無い状態が続くと、DIMMER>1 と同じ明るさにし、ディスプレーの消耗を防ぎます。

オート・パワー・セーブ設定

APS> ＊＊＊

プラッターが回転していない状態が設定時間続くと、電源を自動的にオフにします。

- 出荷時は、「OFF」に設定されています。

OFF
オート・パワー・セーブ機能を使用しません。

30m
30 分

60m
60 分

90m
90 分

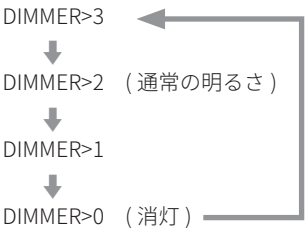
120m
120 分

ディマー設定

DIMMER> ＊＊＊

- 出荷時は、「2」に設定されています。

本体のディスプレーの明るさを調節できます。



- DIMMER>1、DIMMER>0 が選択されていても、設定表示やエラー内容は通常の明るさ (DIMMER>2) で表示されます。

ファームウェアのバージョン表示

F/W ver.

F/W ver. 表示中に回転数調整ボタン (＋) を押すと、各ファームウェアのバージョンの確認ができます。

I/F **
I/F ファームウエア

MTR **
モータードライバーファームウェア

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (29 ページ) にご連絡ください。

一般

電源が入らない

➡ 電源コードが、電源部背面のインレットとコンセントに接続されているか確認してください。
➡ 電源コードが接続されたコンセントに電流が流れているか、別の機器を接続するなどして確認してください。
➡ 本体と電源部をつなぐ DC 電源接続コードが正しく接続されているか確認してください。

電源が自動的にオフになる

➡ オート・パワー・セーブ機能が働いて電源がオフになっています。
電源ボタンを押して、電源をオンにしてください。
必要に応じてオート・パワー・セーブ設定を変更してください。

ボタンを押しても反応しない

➡ 続けてボタンを押すと、本機が対応できずに動作しないことがあります。ボタンを押すときは、本機が反応するまで少しお待ちください。

雑音がする

➡ テレビなど強い磁気を帯びたものからはできるだけ離して設置してください。

クロック同期

クロックインジケーター (CLOCK) の点滅が消えない

➡ クロック同期を使用しないときは、クロック設定 (CLK>) で「OFF」を選んでください。
➡ 同期できないクロックが入力されている可能性があります。クロック端子の接続や、接続している機器の設定を確認してください。本機は、10MHz のクロックのみに対応します。

再生

アームリフターレバーをさげてもアームが下がらない

➡ トーンアームのバランスをとって、針圧を設定し直してください。

音程がおかしい

➡ レコード盤に指定されている回転数を選んでください。

再生できない、雑音が入る

➡ フォノケーブルを接続しなおしてください。
➡ レコードに指紋やほこりがつくと、雑音や音飛びの原因となります。市販のレコードクリーナーなどでクリーニングしてください。
➡ レコード針をクリーニングしてください。
➡ レコード針が摩耗していたら、交換してください。
➡ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。
➡ 電源コードを別のコンセントにさしてください。

レコード再生中にノイズが出る

➡ カートリッジ指定の値よりも高い針圧の場合はノイズが 出やすくなります。指定の値になるように針圧の調整をやりなおしてください。

音飛びする

➡ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
➡ レコード盤の汚れをクリーニングしてください。
➡ 傷が付いたレコードは使わないでください。
➡ トーンアームのバランスをとって、針圧を設定し直してください。
カートリッジ指定の値よりも低い針圧の場合は音飛び (針飛び) しやすくなります。
➡ レコード針が曲がっていたらレコード針を交換してください。

地震や衝撃等でモーターユニットまたはベースユニットの位置がずれた

➡ 17 ページの「モーターユニットを初期位置に再設定する」の手順に従って位置を再調整してください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合はいったん電源を切り、約 1 分後に始めから操作してください。

エラー表示一覧

CLOCK!
クロックと同期できません。
➡ 23 ページの「クロック同期」をご覧ください。

MOTOR ERR!
モータードライバーが異常を検出してモーターを停止しました。
➡ 再生 / 停止ボタン (▶/■) ボタンを押して、再生をやり直してください。
- 頻繁に表示される場合は、ティアック修理センター (29 ページ) にご連絡ください。

OverCRNT!
モータードライバーの過電流を検出し、モーターを強制停止しました。
➡ 再生 / 停止ボタン (▶/■) ボタンを押して、再生をやり直してください。
- 頻繁に表示される場合は、ティアック修理センター (29 ページ) にご連絡ください。

PLAT ERR!
プラッターが回転していません。
そのため、モーターを停止しました。
➡ 再生 / 停止ボタン (▶/■) ボタンを押して、再生をやり直してください。
- 頻繁に表示される場合は、11 ページの「設置」の手順にしたがって設置をやり直してください。

START ERR!
起動エラーが起きています。プラッターが設定されている回転数で回転するまでに時間がかかっています。
- プラッターが設定されている回転数で回転すると表示が消えます。
- 頻繁に表示される場合は、11 ページの「設置」の手順にしたがって設置をやり直してください。

ADJ ERR!
プラッターが設定されている回転数で回転していません。
- プラッターが設定されている回転数で回転すると表示が消えます。
- 頻繁に表示される場合は、11 ページの「設置」の手順にしたがって設置をやり直してください。

出荷時の状態に戻す

設定した内容は、電源プラグを抜いても保持されます。

以下の操作をすると、設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。

1 電源をオフにする。

電源がオンの場合は、電源部の電源ボタン (POWER) を押して電源をオフにしてから 30 秒以上待ってください。

2 回転数切換ボタン (SPEED) を押しながら電源ボタン (POWER) を押す。

ディスプレーに「Setup CLR (設定消去)」が表示されたら回転数切換ボタン (SPEED) から指を離してください。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部に水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて 1 ～ 2 時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

仕様

ターンテーブル部

回転数 ..... .33 1/3rpm / 45rpm
回転数調整範囲..... ± 12%（0.1% 刻み）
ワウフラッター..... 0.06% 以下（W.R.M.S）

クロック入力

BNC 1
入力インピーダンス ..... 50 Ω
入力可能周波数 (± 10ppm) 10MHz
入力レベル ..... 0.5 ～ 1.0Vrms (サイン波)

ベースユニット

アームベースポスト 1*
（アームレスには付属しません）

* 本機には最大 3 本のトーンアームが搭載可能です。
トーンアームの増設にはアームベースキットが別途必要になります。
各種アームに対応したアームベースキットをカスタムオーダーにて承ります。

一般

電源 ..... 100V AC 50/60Hz
消費電力 8W
スタンバイ時..... 0.4W
許容動作温度..... ＋ 5°C～＋ 35°C
許容動作湿度..... 5%～ 85% (結露のないこと)
許容保管温度..... – 20°C～＋ 55°C

ベースユニット
外形寸法 ..... 497mm x 215mm x 436mm
(WxHxD、突起部を含む)
質量 17kg

プラッター
外形寸法 ..... φ 315.4 x 103mm
(直径 x 高さ)
質量 19kg

モーターユニット
外形寸法 ..... 185mm x 137mm x 450mm
(WxHxD、突起部を含む)
質量 9kg

電源部
外形寸法 ..... 445mm x 132mm x 370mm
(WxHxD、突起部を含む)
質量 18kg

付属品

設置用治具
- スペーサーブロック× 1
- 高さ確認ゲージ× 1
- 設置用レール (L) × 1
- 設置用レール (R) × 1
- 本体保護カバー× 2

ターンテーブルシート× 1
DC 電源コード× 1
電源コード× 1
フェルト（電源ユニット用）× 4
ハンドル× 2
取扱説明書 (本書) × 1
ご愛用者カード× 1
トーンアーム TA-9D × 1
（アームレスには付属しません）
トーンアーム TA-9D 取扱説明書× 1
（アームレスには付属しません）
アームベース× 1（アームレスには付属しません）

仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。

添付のご愛用者カードに必要事項を御記入の上、ご購入後なるべく 1 ヶ月以内にご返送ください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日から 3 年です。

- 保証書発行には約 1 ヶ月程度かかります。あらかじめご了承ください。
- ご記入頂いたご愛用者カードのご購入日が弊社出荷日と大きく異なる場合（6 ヶ月以上ご愛用者カードの返送がない場合、ご愛用者カードでのユーザー登録をせず転売された場合等）は、保証書を発行できない場合があります。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) 消耗品の自然消耗、磨耗、劣化や寿命部品等の交換が必要となった場合のメンテナンスやオーバーホール
   (7) 保証書の提示がない場合
   (8) 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名 (印) の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を製造打ち切り後 8 年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店、AV お客様相談室もしくはティアック修理センター (29 ページに記載) にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

23 ページの「 困ったときは 」に従って調べても、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (29 ページに記載) にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害 (録音内容などの補償) の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代： 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料： 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：アナログターンテーブル
Grandioso T1
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

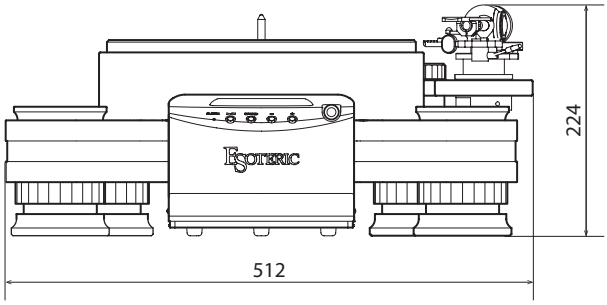
分解・改造禁止

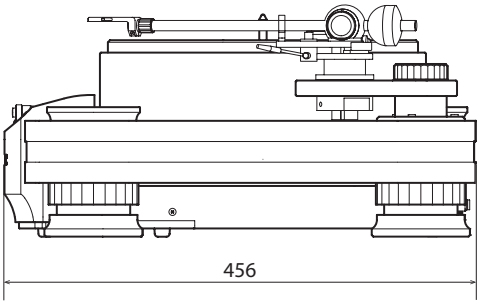
この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

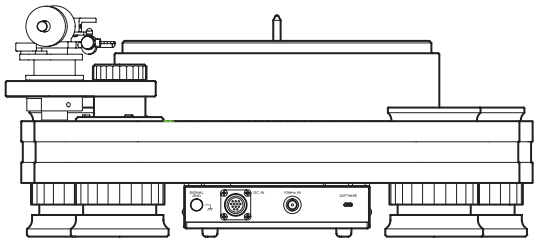
当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

寸法図

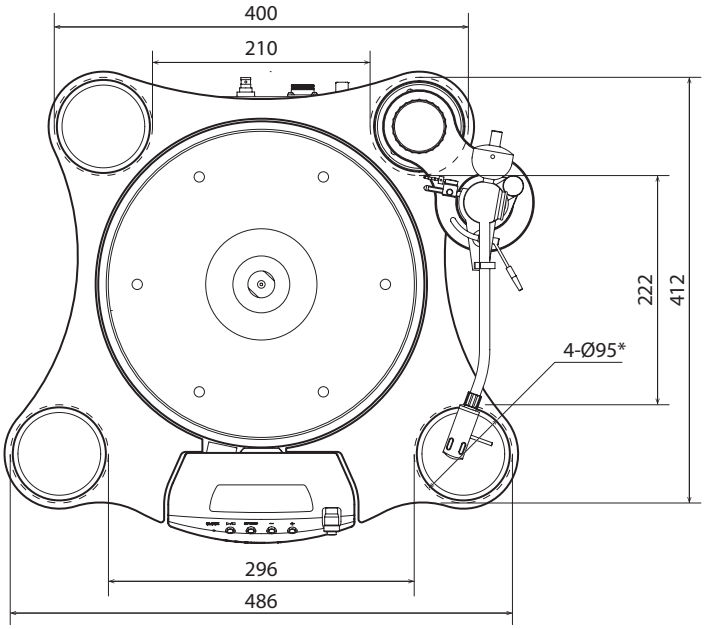
本体





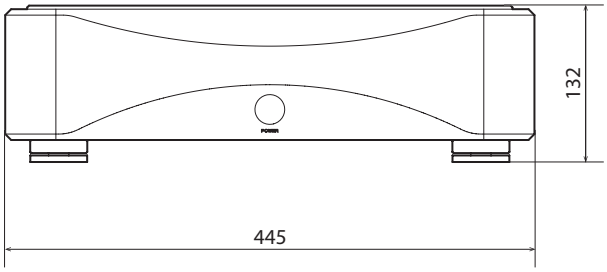


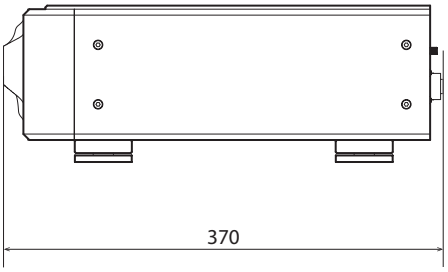
フット配置図

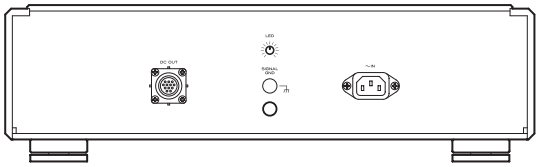


単位：mm
* 直径 95mm フット× 4

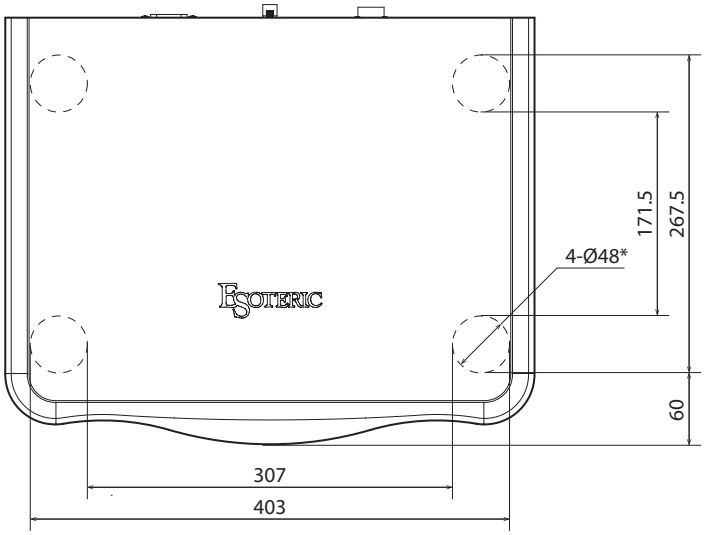
電源部







フット配置図



単位：mm
* 直径 48mm フット× 4

ティアック株式会社
〒 206-8530　東京都多摩市落合 1-47

https://www.esoteric.jp/jp/
ESOTERIC ウェブサイト ▶

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせ

AVお客様相談室　〒 206-8530　東京都多摩市落合 1-47

042-356-9235　携帯電話、IP 電話をご利用の場合

0570-000-701　ナビダイヤル　固定電話をご利用の場合

FAX：042-356-9242

受付時間は、10:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

故障・修理や保守についてのお問い合わせ

ティアック修理センター　〒 358-0026　埼玉県入間市小谷田 858

04-2901-1033　携帯電話、IP 電話をご利用の場合

0570-000-501　ナビダイヤル　固定電話をご利用の場合

FAX：04-2901-1036

受付時間は、9:30 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

● 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



ティアック株式会社

0325 MA-3453E